

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) エヌイーシール株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒716-1112 岡山県加賀郡吉備中央町湯山1300-15	
本票作成	部署名：総務部				
主たる業種	分類コード	19	業種名：ゴム製品製造業		
事業の概要	自動車・産業機械用部品の製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	吉備高原工場		加賀郡吉備中央町湯山1300-15	
	②	久米南工場		久米郡久米南町上弓削東ヶ丘1317-2	
	③	美原工場		加賀郡吉備中央町美原1301-1	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和5年度)	(令和6)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	21,078 t CO <sub>2</sub>	20,481 t CO <sub>2</sub>	20,867 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量
	①	吉備高原工場	7,618 t CO <sub>2</sub>
	②	久米南工場	8,801 t CO <sub>2</sub>
	③	美原工場	4,062 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：令和6年度～令和6年度(1箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	1.3 %	1.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量 305,098 (千個)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6)年度	目標年度
		68.029 kg CO <sub>2</sub> /(千個)	67.129 kg CO <sub>2</sub> /(千個)	67.348 kg CO <sub>2</sub> /(千個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)	達成率等

## 【削減状況の自己評価】

地道な不良率低減活動の取り組みにより原単当たりの排出量を下げる事ができ、目標を達成する事が出来た。また、生産計画体制の見直し、改善を行う事でムダのない効率の良い生産が出来るようになってきている反面、不良率の高い製品や受注変動もあり、生産、出荷対応に追われ効率の悪い生産になっている部分もあった。

【推進体制】

省エネ法に基づくエネルギー管理体制の構築 環境ISO14001導入(2001年度)による組織作り、削減目標の設定、継続的改善の実施
--

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全工場</li> <li>・全工場</li> <li>・全工場</li> <li>・全工場</li> <li>・全工場</li> <li>・全工場</li> </ul>	<p>(令和6年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配管エア漏れの調査を行い、エア漏れ分のコンプレッサー稼働を無くし、電力使用量を削減する。</li> <li>・設備改善、チョコ停対策を行い、単位時間当たりの生産数を増やし、生産性の改善を継続する。</li> <li>・不良削減による電力・燃料消費量の低減を継続する。</li> <li>・設備立ち上げ時間を分散し、電力ピーク管理を実施。(デマンドコントロールの活用。)</li> <li>・設備アイドリング時間の短縮。</li> <li>・エネルギー高効率の設備への更新。</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全工場 高効率照明器具への切り替えによる電気使用量の削減。</li> <li>・全工場 配管エア漏れの調査を行い、エア漏れ分のコンプレッサー稼働を無くし、電力使用量を削減する。</li> <li>・全工場 設備改善、チョコ停対策を行い、単位時間当たりの生産数を増やし、生産性の改善を継続する。</li> <li>・全工場 不良削減による電力・燃料消費量の低減を継続する。</li> <li>・全工場 設備立ち上げ時間を分散し、電力ピーク管理を実施。</li> <li>・全工場 設備アイドリング時間の短縮。</li> <li>・全工場 エネルギー高効率の設備への更新。</li> <li>・全工場 成形機の放熱部分の遮熱対策を行い、エアコン稼働の負荷を低減させ、電力使用料を削減する。</li> </ul>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--